

(特非) NPO 生活工房つばさ・游

オーガニックフェスを通じた環境配慮型 まちづくりのプラットフォーム構築活動

イベントの 延べ参加者数	3,200 人
助成活動がメディア に掲載された回数	5 回
活動の全体目標 に対する達成度	50%



オーガニックフェス終了後の関係者集合写真

●成果

- ・小川町オーガニックフェスには、雨天にも関わらず 3,000 人以上の参加があった。
- ・環境講演会「松葉調査報告会」には、46 名参加者があった。

●工夫

- ・地域飲食店組合、地域環境団体、地域有機農家などに呼びかけて、参加を募った。
- ・チラシを地域全戸に配布。

課 題

有機農業の持つ環境保全機能を、地域で環境保全活動をしている団体に知っていただき、有機農家との連携を図る基盤を、オーガニックフェスを通じて構築したい。

目 標

- ・第 1 段階として関係者の出会いの「場」を設定し、相手のことを知ること。
- ・地域の人に有機農産物の美味しさを知っていただくこと。
- ・オーガニックフェスを通して、地域の人たちが地域の環境を知る機会となること。

活動内容

- ・地元有機農家や市民、環境団体、都市部住民が協力して実行委員会を立ち上げた。
- ・小川町オーガニックフェスを開催した。
- ・オーガニックフェスには、地元の有機農家のマルシェ、地元飲食店による有機食材を使ったフードコート、地元環境団体の展示ブースに出店・展示していただいた。
- ・オーガニックフェスに連動し、出展した環境団体と共催で「松葉調査報告会」を開催した。



環境講演会の様子

達成できなかったこと

地域の環境に関心の高い人たちが会える機会を作り、連携基盤を作る予定であったが、オーガニックフェスの当日は関係者が忙しく、お互いに話をする機会が少なかった。

今後の展望

今回は関係者が、自分たちの活動内容や考えを充分に紹介しあえる機会や時間を設定したい。